

2015年3月期 決算発表資料

株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

2015年5月8日



2015年3月期 連結決算のサマリー

❖ 2015年3月期の決算のポイントは下記の6点

- 連結営業利益90億円でV字回復、EBITDA262億円と高水準を達成
- ガス石油、情報通信、アクアの事業が収益改善を牽引
- グループ顧客件数は前期末比19千件増加
- 当期純利益は過去最高の39億円
- 有利子負債残高731億円と財務改善が大きく進捗
 - IP16 “Growing”の2015/3月末は818億円を予定
- 自己資本比率も25.7%に向上
 - IP16 “Growing”の2015/3月末は23.0%を予定

2015年3月期 連結業績

- IP16“Growing”初年度は営業利益がV字回復、前期比で+16億円と2割増。
- 当期純利益が39億円となり過去最高を更新。

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	前期比・差
売上高	1,817億円	1,890億円	1,875億円	99.2%
営業利益	89億円	74億円	90億円	+16億円
経常利益	81億円	70億円	85億円	+15億円
当期純利益	31億円	26億円	39億円	+13億円
1株当たり利益	29.85円	22.67円	34.16円	+11.49円

3

 TOKAIホールディングス

2015年3月期 セグメント別(前期比)

- ガス・石油、情報・通信、アクアの主要事業がグループ全体の業績改善を牽引。

	売上高		営業利益	
	2015年3月期	前期比	2015年3月期	前期比
ガス石油	931億円	95.7%	77億円	+12億円
情報通信	401億円	103.4%	50億円	+5億円
CATV	244億円	100.7%	17億円	△1億円
建築不動産	200億円	104.0%	10億円	△4億円
アクア	50億円	113.3%	△13億円	+7億円
その他・調整額	50億円	97.0%	△50億円	△3億円
連結合計	1,875億円	99.2%	90億円	+16億円

※営業利益は間接費用等配賦前ベース

4

 TOKAIホールディングス

連結財務指標

▶ 有利子負債残高は127億円圧縮し731億円に。自己資本比率も25.7%に改善。

	2011年3月末	2014年3月末	2015年3月末	前期比
資産合計	1,932億円	1,736億円	1,657億円	△79億円
負債合計	1,717億円	1,353億円	1,222億円	△131億円
純資産合計	216億円	383億円	435億円	+51億円
有利子負債残高	1,240億円	858億円	731億円	△127億円
自己資本比率	7.7%	21.6%	25.7%	+4.1%
EBITDA	263億円	249億円	262億円	+13億円

5

 TOKAIホールディングス

グループ顧客件数

▶ 全体で前期末から19千件の純増。情報通信およびアクアが伸長。

	2014年3月末	2015年3月末	前期末比
ガス(LPガス・都市ガス)	628千件	626千件	△2千件
情報通信(固定・無線)	854千件	864千件	+9千件
情報通信(モバイル)	227千件	235千件	+7千件
CATV	693千件	690千件	△3千件
アクア	122千件	130千件	+7千件
セキュリティ	19千件	18千件	△1千件
合計	2,519千件	2,537千件	+19千件

※千件未満四捨五入。情報通信(固定・無線)とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

6

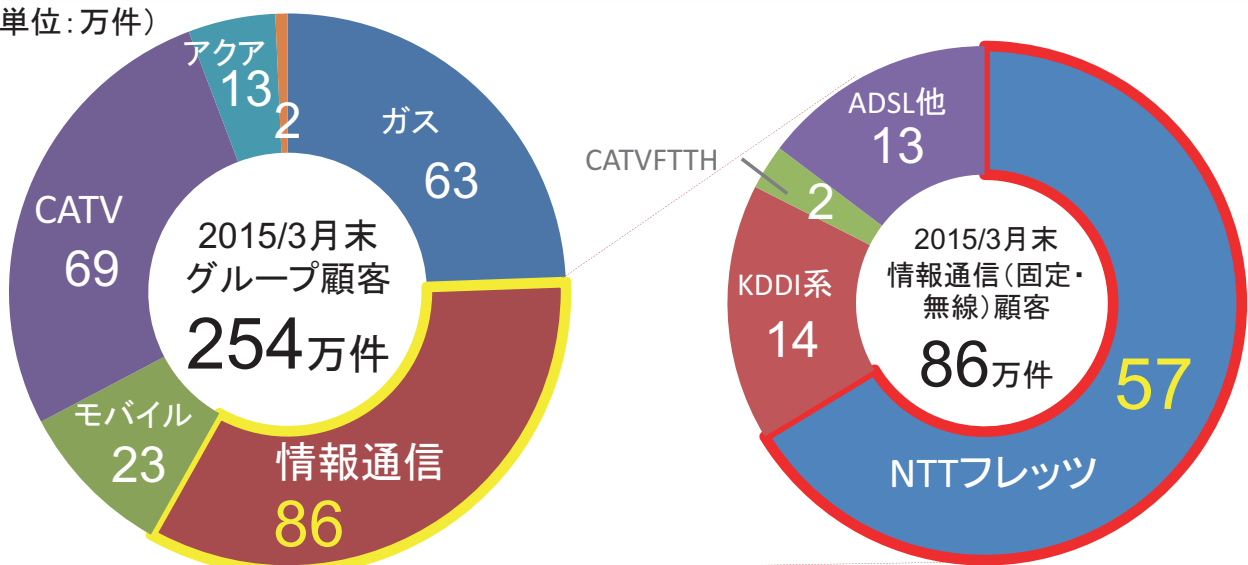
 TOKAIホールディングス

2016年3月期の主要な取り組みについて

光コラボは通信サービス拡大の機会

- 通信顧客のうち57万件がNTTフレッツ顧客、光コラボで囲い込むチャンス。
- 既存顧客の囲込みだけでなく、光コラボは新規の顧客獲得策としても有効。

(単位: 万件)

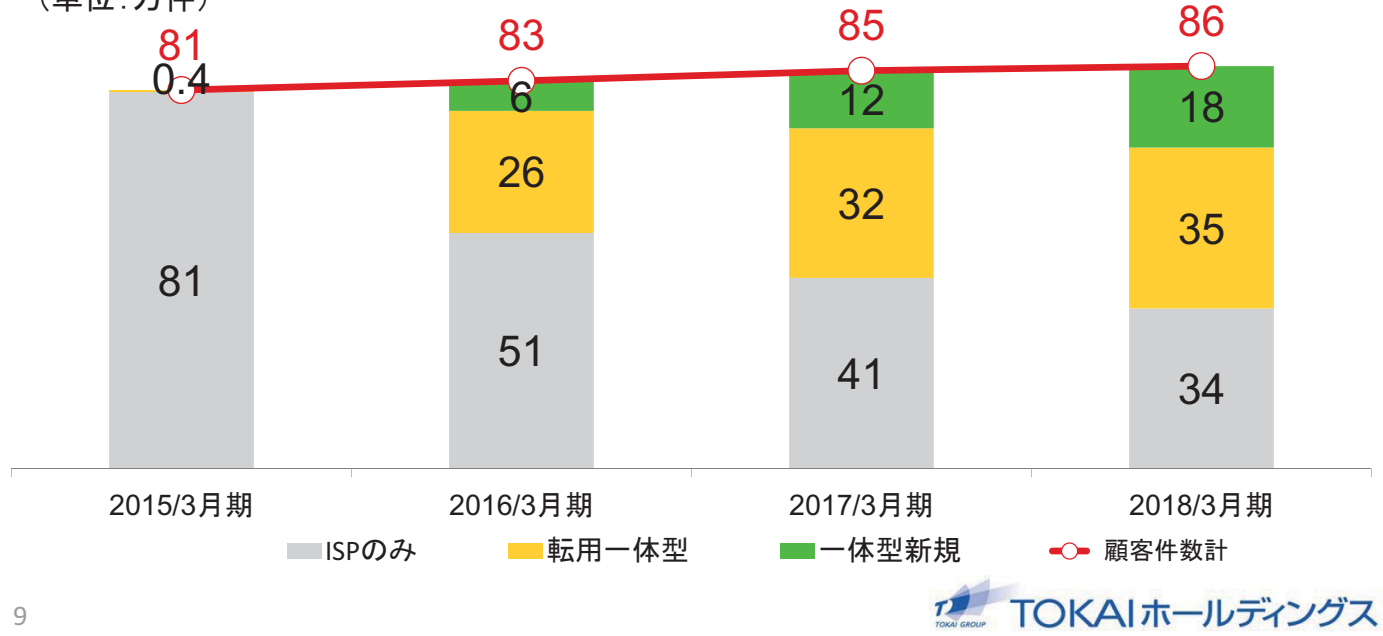


※件数は万件未満四捨五入。情報通信(固定・無線)とCATVとに通信サービスを重複して表示しているが合計値からは除外している。

光コラボ比率アップで収益力を強化

- ブロードバンド市場は飽和状態で増加は見込めず事業者間の切替競争に。
- 既存顧客および新規獲得チャネルでの光コラボ推進により収益基盤を強化。

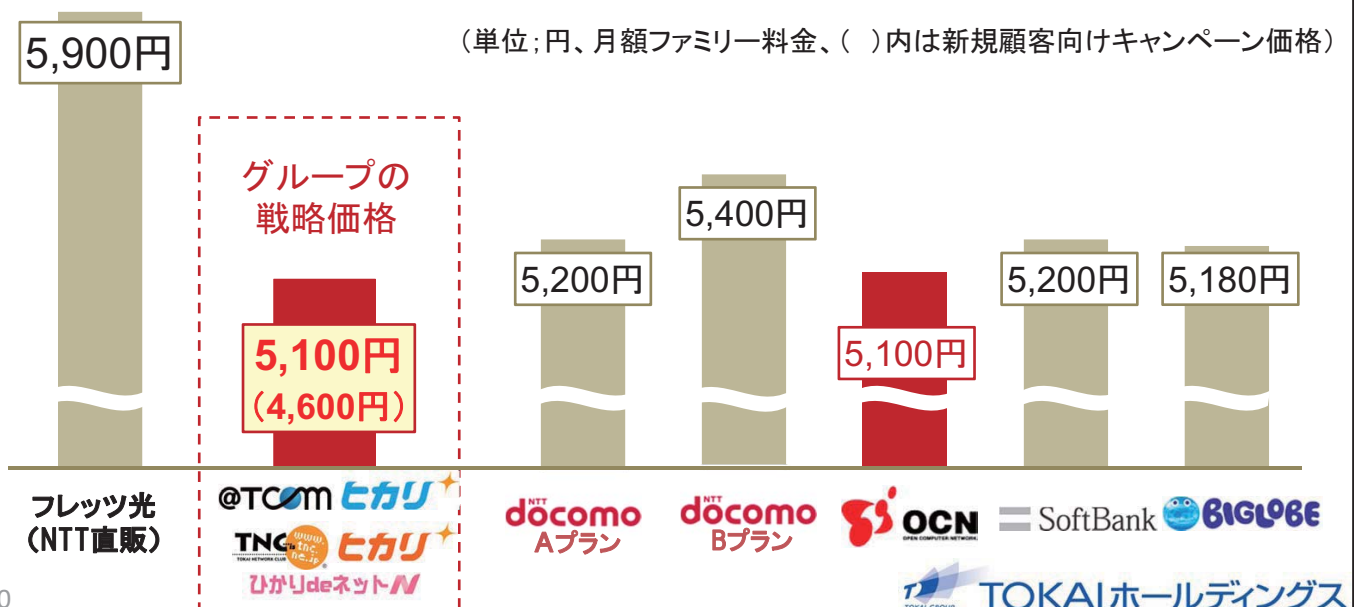
(単位: 万件)



競合他社比で最も競争力ある価格

- ISP最大手のOCN価格5,100円/月に設定、自社光コラボメニューへ切替促進。
- グループのISP事業およびCATV事業、LPガス事業においても推進。

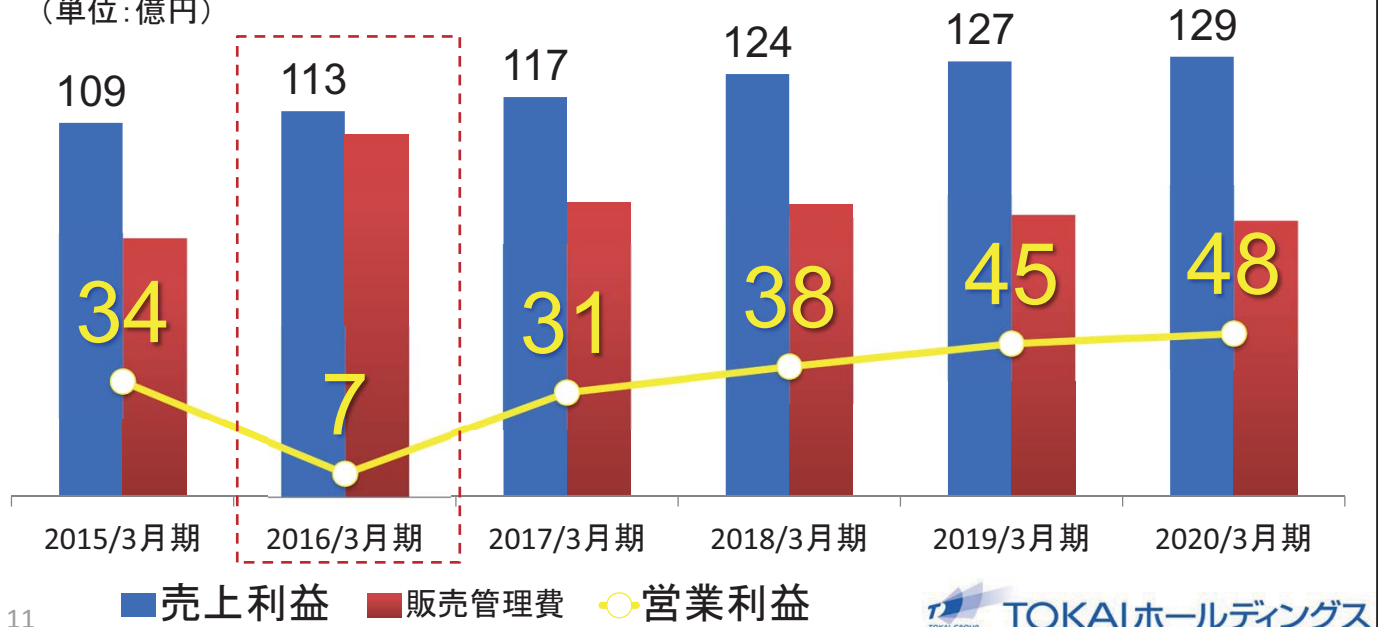
(単位: 円、月額ファミリー料金、()内は新規顧客向けキャンペーン価格)



ブロードバンド事業収益の中期展望

- 今期は光卸コラボ推進に30億円のコストをかけ既存顧客26万件に拡販。
- 顧客基盤維持と光コラボ率の向上により2018年3月期以降の高収益構造へ。

(単位: 億円)

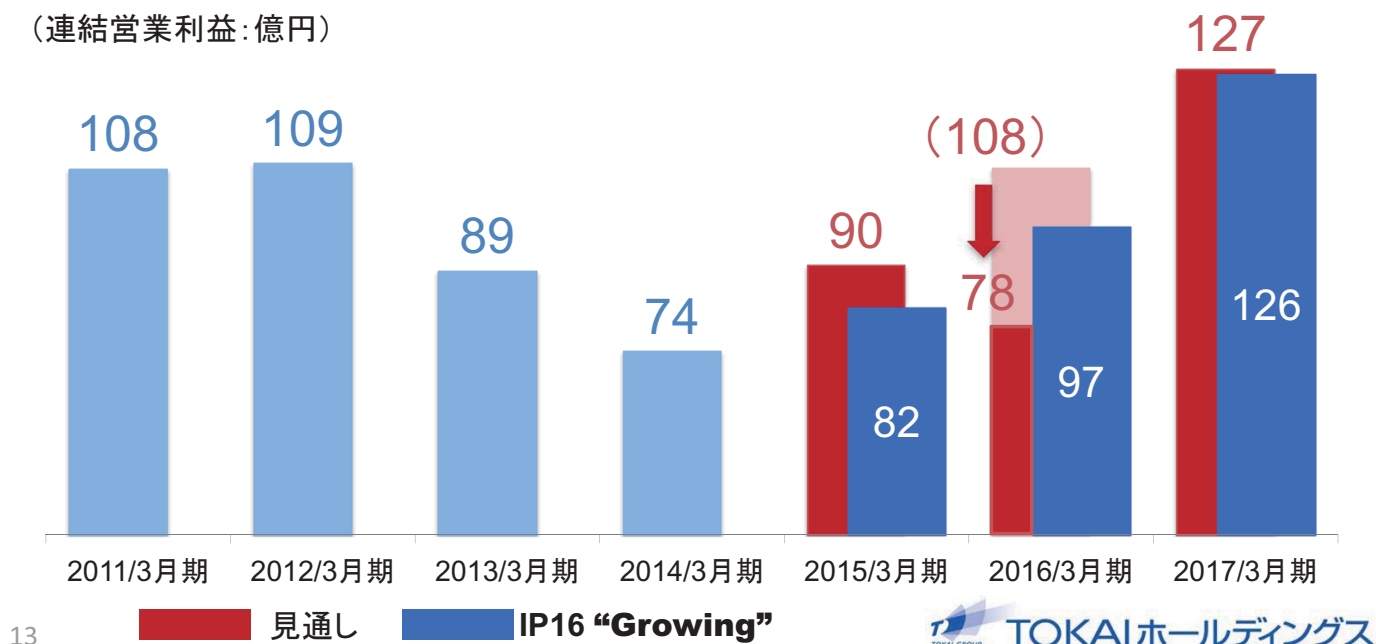


2016年3月期の業績予想

IP16 “Growing”最終着地見込み

- 初年度上振れ要因は次年度以降もIP16 “Growing”から約10億円の増益基盤。
- 2016年3月期は光コラボ販促30億円を見込む。但し2017年3月期は計画通り。

(連結営業利益: 億円)



2016年3月期 連結業績予想

- 売上高は1,922億円の過去最高を更新の見込み(約70億円のガス値下げ含)。
- 光コラボへの取り組みで一次的に利益は減少。但し2017年3月期は予定通り。

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	前期比・差
売上高	1,890億円	1,875億円	1,922億円	102.5%
営業利益	74億円	90億円	78億円	△12億円 (光卸影響△30億円)
経常利益	70億円	85億円	74億円	△11億円
当期純利益	26億円	39億円	32億円	△7億円
1株当たり利益	22.67円	34.16円	28.04円	△6.12円

グループ顧客件数計画

- ▶ 全体で前期末比73千件の純増。LPガスはエリア拡張及びM&Aにより純増へ。CATVは通信と放送のバンドル販売で大幅増を見込む。

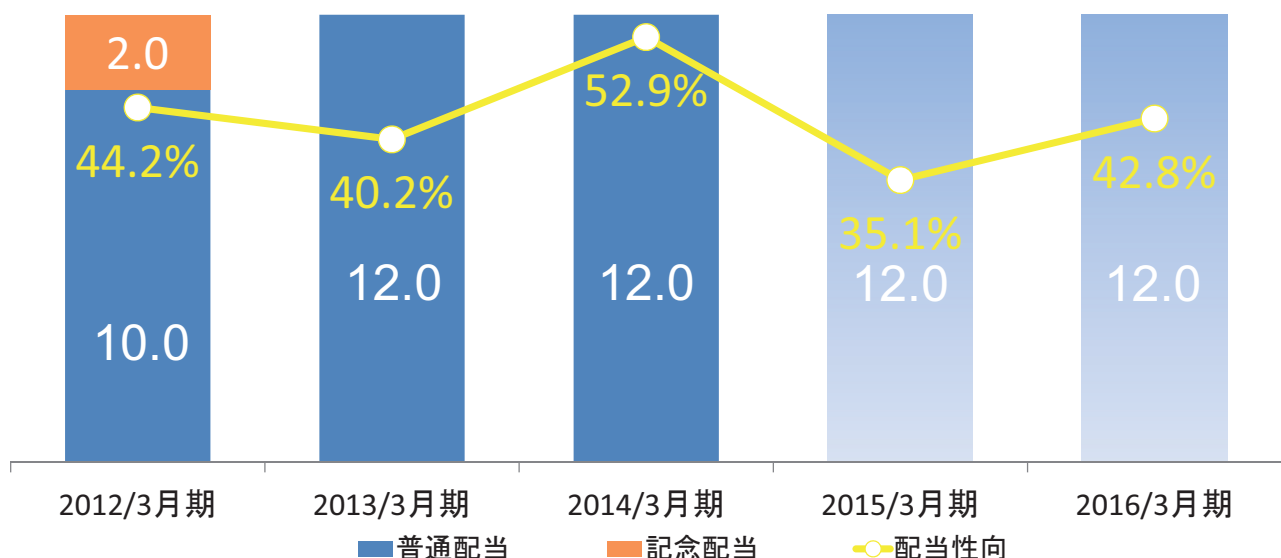
	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
ガス(LPガス・都市ガス)	626千件	639千件	+13千件
情報通信(固定・無線)	864千件	881千件	+18千件
情報通信(モバイル)	235千件	240千件	+5千件
CATV	690千件	712千件	+22千件
アクア	130千件	146千件	+16千件
セキュリティ	18千件	18千件	+0千件
合計	2,537千件	2,611千件	+73千件

※千件未満四捨五入。情報通信(固定・無線)とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。TOKAI GROUP TOKAIホールディングス

株主還元について

- ▶ 基本方針である安定配当の継続に努める。配当性向は40%台を基本水準に。

(単位:円/株)



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8
TEL: (054)275-0007
FAX: (054)275-1110
<http://tokaiholdings.co.jp>
e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

